

## 西海警察署協議会第1回会議議事概要

日 時	令和2年1月24日（金）15時00分～17時00分
場 所	西海警察署講堂
出 席 者	<p>1 協議会          杠葉会長 田川委員 関委員 原田委員</p> <p>2 警察署          浦郷署長 尾崎副署長 堀下刑事生活安全課長 長田交通課長          小川地域課長</p> <p>3 書記          警務係長</p>
会議の状況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について          署長から、前回協議会の提出意見である反射材の普及促進と早めのライト点灯の促進に対する推進状況について、次のとおり説明があった。          「反射材の普及促進と早めのライト点灯の促進」について          (1) 反射材の普及促進について          ア 反射材の普及促進を目的として西海市内の小学校全児童数に相当する数の自発光式のリストライトの購入を西海市交通安全協議会に依頼し承諾を得た。          イ 自発光式リストライトを小学校校長等に配布し、登下校時の活用を依頼した。          ウ 広報効果を高めるため、また、子供から大人への波及効果を期待し、12月16日、大島町のマミーズ大島店において大崎高校野球部に協力を求め、同部員と共に反射材普及のためのキャンペーンを実施した。</p> <p>(2) 早めのライト点灯の促進について          ア 11月19日、国道202号線沿いにおいて西海地区交通安全協会と協力し、早めのライト点灯啓発キャンペーンを実施した。          イ 通行量が増加する夕方の時間帯に国道202号線に面する西海警察署敷地内に電光掲示板を設置し、早めのライト点灯を呼びかけた。          ウ 西海市の広報市である広報「さいかい」に早めのライト点灯と反射材の着用を呼びかける記事を掲載した。</p> <p>2 令和元年10月から12月までの業務重点推進結果について          署長から、次のとおり説明があった。          (1) 各種犯罪抑止対策の推進について          ア 令和元年10月から12月まで間の犯罪発生状況等          (ア) 刑法犯の発生状況は、10月から12月末までの期間中、窃盗事件2件、傷害・器物損壊事件等が3件発生した。          (イ) 逮捕状況は、傷害事件被疑者1人、侵入窃盗事件被疑者1人を逮捕した。          イ 各種犯罪抑止対策の状況について          (ア) 児童虐待に関する関係機関との検討会において情報の共有</p>

## 会議の状況

を図った。

- (イ) デイサービス利用者を対象に特殊詐欺被害未然防止に係る防犯講話を行った
- (ウ) 猟銃等所持者を対象に安全狩猟講話を実施した。
- (エ) 西海東小学校において不審者の侵入事案を想定した避難訓練を実施した。
- (オ) 西海コンビニ防犯ネットワーク連絡会を開催し、情報共有を図った。
- (カ) 大村湾密漁防止対策会議に出席して情報共有を図った。
- (キ) 西海市大瀬戸町で開催された大鍋まつりにおいて特殊詐欺被害の防止や児童虐待防止のキャンペーンを実施した。
- (ク) 生活安全ニュースや交番、駐在所が作成するミニ広報紙において、犯罪被害の防止を呼びかけた。

### (2) 金融機関、コンビニエンスストア等に対する立ち寄り警戒の強化について

#### ア 年末における立ち寄り警戒の実施について

金融機関やコンビニエンスストア等における強盗事件、ATMや電子マネーを悪用した特殊詐欺の発生が懸念されるため地域課員による金融機関、コンビニエンスストアへの立ち寄り警戒を強化し、立ち寄り時は店員への防犯呼びかけを行った。

#### イ 緊急配備訓練の実施について

12月11日、金融機関で強盗事件が発生したと想定し、金融機関職員による通報要領を指導するとともに、警察本部通信指令課と連携して無線通話訓練や緊急配備訓練を実施した。

### (3) 薄暮時の交通事故防止について

#### ア 令和元年度の交通事故発生状況

令和元年度中長崎県内では、交通人身事故が3,959件発生し、死者数33人、負傷者数5,097人であった。

西海警察署管内では、死亡事故の発生はなく、交通人身事故は前年に比べ24件減少の46件発生し、負傷者数は前年に比べ33人減少の57人であった。

#### イ 抑止対策及び10月から12月までの交通事故発生状況

##### (ア) 抑止対策の状況

- ・ 交通取締りの実施  
期間中、午後4時から午後7時まで交通取締りを強化した。
- ・ 交通安全講話の実施  
期間中、交通安全協会指導員と協力し、49回の交通安全講話を行った。

##### (イ) 発生件数

抑止対策を推進した結果、期間中の事故は、人身事故5件が発生したが前年同期に比べ12件減少し、負傷者数も13人減少の12人となった。

薄暮時間帯の事故の発生も前年同期に比べ5件減少し0件であった。

### (4) 国際テロの未然防止対策の推進について

#### ア 警戒の強化について

- (ア) 米海軍貯油所、基幹産業である大島造船所、ライフライン上重要な施設である松島火力発電所等の警戒や沿岸警戒を強化した。

	<p>(イ) 10月22日の即位礼正殿の儀、11月24日のローマ教皇来崎に伴い当署からも署員が警備に従事した。</p> <p>(ウ) 期間中、松島港に外国船6隻、延べ人員121人が入港し、そのうち41人が上陸したが、事件・事故の発生はなかった。</p> <p>イ 薬品等の販売業者、観光施設管理者に対する協力依頼について テロで使用される爆薬製造の原料として使用されるおそれがある薬品や肥料などを販売する業者への不審情報の通報依頼や多数の人や観光客が集まることが予想される催事の主催者や施設の管理者に対する自主警戒の依頼を行った。</p> <p>ウ 国民保護図上訓練への参加 11月8日、大瀬戸コミュニティセンターにおいて、長崎県と西海市が主体となり、西海市国民保護計画に基づく図上訓練が実施された。同訓練は、大島大橋が爆破され、テロリストが上陸したという想定で西海市のほか、警察、自衛隊、海上保安庁などが出席し、連携の確認や各種対策等について協議した。</p> <p>3 業務重点推進計画について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 特殊詐欺被害防止対策の推進 (2) 高齢者の犯罪被害抑止 (3) 歩行者事故等の防止対策の推進 (4) 管内に居住する外国人に対する防犯指導等について</p> <p>4 諮問テーマ 前回会議の諮問テーマに対して、協議会から次のとおり答申があった。</p> <p>(1) 諮問テーマ 新入学シーズンにおける通学中の事故防止対策について</p> <p>(2) 協議会からの答申 杠葉会長から協議会委員に対し、次のとおり署長への答申内容について確認があり、全会一致で了承された。</p> <p>ア 登下校時における効果的な見守り活動の実施 イ 運転者に対する具体的な注意喚起の実施</p> <p>5 速度取締り指針について 交通課長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 西海警察署管内における交通事故の実態 (2) 西海警察署の速度取締り重点 (3) その他の交通指導取締り重点</p> <p>6 免許講習業務の集約について 署長及び交通課長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 運転免許更新時の現状 (2) 集約の理由 (3) 集約内容 (4) 集約による影響 (5) 集約によって得られる利点</p>
提出意見	<p>各委員からの提出意見について、事務局から次のとおり報告があり会長による委員への確認の結果、全会一致で了承された。</p> <p>○ 管内に居住する外国人の犯罪等被害防止方策の推進について</p>

働き手不足の解消方策の一つとして今後外国人が増えることが予想されるが、外国人の安全・安心を確保するため、外国人を対象とした防犯講話だけでなく、日本人に対しても外国人の方の特性などの理解が深まるような取組を行い、外国人の安全・安心を確保する方策をとっていただきたい。